

新島旧邸における八重茶会

新島八重は夫・新島襄が亡くなった後、茶道に傾倒し、裏千家十三世・圓能斎鉄中直門の茶人として、茶名「宗竹」を授かりました。また、自宅を改造して茶室「寂中庵」を設け、知友を招いてたびたび茶事を行いました。

同志社と京都に深く関係している伝統文化である茶道を通じて、同志社人の絆を深めることを目的に茶会を催します。茶会は同志社大学茶道部の学生と卒業生により執り行われます。茶席終了後には、同志社社史資料センターの職員が新島旧邸をご案内いたします。新島襄と八重について、より一層身近に感じていただきたいと思います。

2024年10月19日(土)

10時・11時・12時・13時・14時開始の5回開催

1回当たりの所要時間は新島旧邸の見学を含めて、45分を予定しています。

場 所

新島旧邸

(京都市上京区寺町通丸太町上ル松蔭町)
京都市営地下鉄「丸太町」駅から徒歩15分
京阪電車「神宮丸太町」駅から徒歩10分

対 象

同志社内各学校の在校生(小学生以上)、卒業生、教職員

募集人数

各回8人

参加費

無料



新島旧邸の茶室「寂中庵」
(写真提供/同志社大学)



申込方法

下記フォームより
お申込みください。

締め切り：9月30日(月)



※応募者多数の場合は抽選により決定します。
結果については応募者全員にお知らせします。

<https://forms.office.com/r/HLdjlilTeh>

主催：学校法人同志社、同志社大学茶道部

協力：同志社大学同志社社史資料センター

お問合せ

学校法人同志社創立150周年記念事業事務局

☎ 075-251-2710

✉ ji-150th@mail.doshisha.ac.jp



ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

同志社創立150周年記念事業

<https://150th.doshisha.ed.jp/>